

各位

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 炭井 孝志  
 (コード番号 2915)  
 問合せ先責任者 取締役 奥田 洋  
 (TEL 03-5317-1111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,200	820	770	380	29.49
今回発表予想(B)	27,200	500	450	230	17.85
増減額(B-A)	0	320	320	150	
増減率(%)	0.0	39.0	41.6	39.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	26,694	1,053	997	474	40.88

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	1,650	1,550	800	62.09
今回発表予想(B)	55,000	1,650	1,550	800	62.09
増減額(B-A)	0	0	0	0	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	53,075	1,606	1,529	710	58.02

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,500	610	570	300	23.29
今回発表予想(B)	22,500	400	360	200	15.52
増減額(B-A)	0	210	210	100	
増減率(%)	0.0	34.4	36.8	33.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	22,276	788	758	349	30.10

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,200	1,230	1,150	640	49.67
今回発表予想(B)	45,200	1,230	1,150	640	49.67
増減額(B-A)	0	0	0	0	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	44,161	1,143	1,136	482	39.44

### 修正の理由

売上高におきましては、調理加工食品を始めとして堅調に推移しており、また従来予想に対しても順調に進捗しております。

利益面におきましては、内部努力として無駄の排除、効率化の徹底など経費削減等の改善を進めて参りました。物流費は売上高増及び原油価格高騰の影響により増加いたしました。販売費及び一般管理費は物流費を除き前年同期実績以下に削減いたしました。原料高騰による売上原価率上昇への対応につきましては、お取引先様のご理解をいただきながら価格改定を順次進めて参りましたが、当初予定よりも時間を要しております。具体的には小麦粉、水産資源等の原料価格上昇に対するパスタサラダ及びツナサラダ類等の価格改定を期初から想定しておりましたが、その完了が2ヶ月遅れたこと、また7月から想定しておりました食用油の価格上昇に対する価格改定も1ヶ月弱の遅れが生じたことにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回発表予想を修正いたしました。

なお、通期の連結・個別業績予想につきましては、8月以降は価格改定が当初の想定どおり進捗すること、また2008年度指針「C-08」に基づいた具体的な施策である「小口商品の整理と配合の統合による合理化の推進」等の効果が寄与してくることから、従来予想の修正を行っておりません。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上